

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2015-509741  
(P2015-509741A)

(43) 公表日 平成27年4月2日(2015.4.2)

(51) Int.Cl.  
D06F 75/12 (2006.01)

F I  
D O 6 F 75/12

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 16 頁)

(21) 出願番号 特願2014-543415 (P2014-543415)  
(86) (22) 出願日 平成24年11月19日 (2012.11.19)  
(85) 翻訳文提出日 平成26年5月19日 (2014.5.19)  
(86) 国際出願番号 PCT/KR2012/009797  
(87) 国際公開番号 W02013/077608  
(87) 国際公開日 平成25年5月30日 (2013.5.30)  
(31) 優先権主張番号 10-2011-0123994  
(32) 優先日 平成23年11月25日 (2011.11.25)  
(33) 優先権主張国 韓国 (KR)

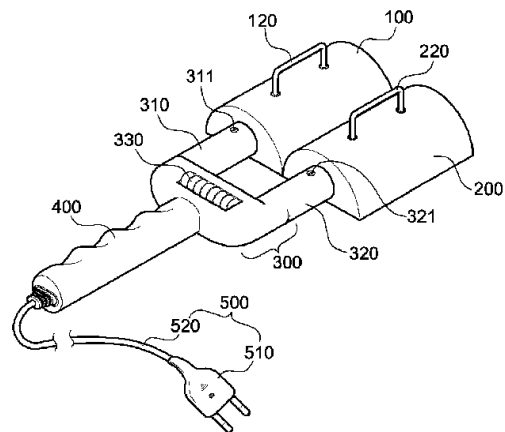
(71) 出願人 514125905  
キム、ジュヨン  
大韓民国、134-753 ソウル、カン  
ドング、コドクードン、コドク アイ  
パーク アパートメント、103-100  
6  
(74) 代理人 100082418  
弁理士 山口 朔生  
(72) 発明者 キム、ジュヨン  
大韓民国、134-753 ソウル、カン  
ドング、コドクードン、コドク アイ  
パーク アパートメント、103-100  
6

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 折り畳み式アイロン

(57) 【要約】

折り畳み式アイロンが開示される。本発明による折り畳み式アイロンは、一面に電源が供給されることにより加熱される第1加熱面110を備え、一側方向に所定の長さだけ延長される形状を有する第1アイロン部材100と、一面に電源が供給されることにより加熱される第2加熱面210と、を備え、一側方向に所定の長さだけ延長される形状を有する第2アイロン部材200と、第1支持台310及び前記第1支持台310と所定の距離だけ離隔され、かつ、平行に配列された第2支持台320、前記第1支持台310及び第2支持台320の間の離隔距離を調節するための距離調節部材330を備えるアイロン部材実装手段300と、前記アイロン部材実装手段300の一侧から外部へ延長される取っ手400と、電源コンセントに挿入されるソケット510及び前記ソケット510と電気的に連結される給電線520を備え、前記ソケット510を通じて印加される電源を前記給電線520を通じて前記第1アイロン部材100及び第2アイロン部材200に提供する電源連結部500と、を備え、前記第1アイロン部材100は、一側に前記第



**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

一面に電源が供給されることにより加熱される第 1 加熱面 110 を備え、一側方向に所定の長さだけ延長される形状を有する第 1 アイロン部材 100 と、

一面に電源が供給されることにより加熱される第 2 加熱面 210 を備え、一側方向に所定の長さだけ延長される形状を有する第 2 アイロン部材 200 と、

第 1 支持台 310 及び前記第 1 支持台 310 と所定の距離だけ離隔され、かつ、平行に配列された第 2 支持台 320 と、前記第 1 支持台 310 及び第 2 支持台 320 の間の離隔距離を調節するための距離調節部材 330 を備えるアイロン部材実装手段 300 と、

前記アイロン部材実装手段 300 の一側から外部へ延長される取っ手 400 と、

電源コンセントに挿入されるソケット 510 及び前記ソケット 510 と電氣的に連結される給電線 520 を備え、前記ソケット 510 を通じて印加される電源を前記給電線 520 を通じて前記第 1 アイロン部材 100 及び第 2 アイロン部材 200 に提供する電源連結部 500 と、を備え、

前記第 1 アイロン部材 100 は、一側に前記第 1 支持台 310 に締結するための第 1 回転軸 130 をさらに備え、前記第 1 回転軸 130 と前記第 1 支持台 310 が締結されることにより、前記給電線 520 を通じた電源が前記第 1 加熱面 110 に印加され、前記第 1 回転軸 130 は、前記第 1 アイロン部材 100 の長さ方向と平行し、前記第 1 アイロン部材 100 は前記第 1 回転軸 130 を中心に回転可能であり、前記第 2 アイロン部材 200 は、一側に前記第 2 支持台 320 に締結するための第 2 回転軸 230 をさらに備え、前記第 2 回転軸 230 と前記第 2 支持台 320 が締結されることにより前記給電線 520 を通じた電源が前記第 2 加熱面 210 に印加され、前記第 2 回転軸 230 は前記第 2 アイロン部材 200 の長さ方向と平行し、前記第 2 アイロン部材 200 は前記第 2 回転軸 230 を中心に回転可能であることを特徴とする、

折り畳み式アイロン。

**【請求項 2】**

前記第 1 回転軸 130 は、前記第 1 アイロン部材 100 の一側から一定の長さだけ延長されて突出された円筒形状を有し、前記第 1 支持台 310 は、一側に前記第 1 回転軸 130 が挿入される円筒形状の開口が形成され、かつ、前記第 1 支持台 310 の開口に前記第 1 回転軸 130 が挿入されることにより相互間に締結され、前記第 2 回転軸 230 は、前記第 2 アイロン部材 200 の一側から一定の長さだけ延長して突出された円筒形状を有し、前記第 2 支持台 320 は、一側に前記第 2 回転軸 230 が挿入される円筒形状の開口が形成され、前記第 2 支持台 320 の開口に前記第 2 回転軸 230 が挿入されることにより相互間に締結されることを特徴とする請求項 1 に記載の折り畳み式アイロン。

**【請求項 3】**

前記第 1 支持台 310 は前記第 1 回転軸 130 が締結されることにより前記第 1 回転軸 130 と前記第 1 支持台 310 の締結角度を調節する第 1 角度調節部材 311 をさらに備え、前記第 2 支持台 320 は前記第 2 回転軸 230 が締結されることにより前記第 2 回転軸 230 と前記第 2 支持台 320 の締結角度を調節する第 2 角度調節部材 321 をさらに備え、前記第 1 角度調節部材 311 及び前記第 2 角度調節部材 321 により、前記第 1 加熱面 110 と第 2 加熱面 210 は互いに向かい合って平行を維持するように角度が調節されるか、または第 1 加熱面 110 と第 2 加熱面 210 が同一平面に位置するように角度が調節できることを特徴とする請求項 1 に記載の折り畳み式アイロン。

**【請求項 4】**

前記給電線 520 は、前記取っ手 400 を通じて前記第 1 支持台 310 及び前記第 2 支持台 320 にそれぞれ連結され、前記第 1 支持台 310 と前記第 1 回転軸 130 が締結されることにより、前記第 1 支持台 310 を通じて前記第 1 回転軸 130 に前記給電線 520 との電氣的な連結がなされ、前記第 2 支持台 320 と前記第 2 回転軸 230 が締結されることにより前記第 2 支持台 320 を通じて前記第 2 回転軸 230 に前記給電線 520 との電氣的な連結が成されることを特徴とする請求項 1 に記載の折り畳み式アイロン。

## 【請求項 5】

前記第 2 アイロン部材 2 0 0 は、前記第 2 支持台 3 2 0 から分離可能であり、前記第 1 加熱面 1 1 0 及び前記第 2 加熱面 2 1 0 のうち少なくとも一つには前記第 1 加熱面 1 1 0 及び前記第 2 加熱面 2 1 0 が所定の距離だけ離隔された状態でも誘引力を通じて前記第 1 加熱面 1 1 0 と前記第 2 加熱面 2 1 0 が相互向かい合ったまま固定されるようにする離隔固定手段がさらに備えられることを特徴とする請求項 1 に記載の折り畳み式アイロン。

## 【請求項 6】

前記離隔固定手段は、磁石であることを特徴とする請求項 5 に記載の折り畳み式アイロン。

## 【請求項 7】

一側に第 1 加熱面 1 1 0 を備え、前記第 1 加熱面 1 1 0 に開口された多数の第 1 スチーム排出口 1 1 1 をさらに備え、一側方向に所定の長さだけ延長される形状を有する第 1 アイロン部材 1 0 0 と、

一側に第 2 加熱面 2 1 0 を備え、前記第 2 加熱面 2 1 0 に開口された多数の第 2 のスチーム排出口 2 1 1 をさらに備え、一側方向に所定の長さだけ延長される形状を有する第 2 アイロン部材 2 0 0 と、

第 1 支持台 3 1 0 及び前記第 1 支持台 3 1 0 と所定の距離だけ離隔され、かつ、平行に配列された第 2 支持台 3 2 0、前記第 1 支持台 3 1 0 及び第 2 支持台 3 2 0 間の離隔距離を調節するための距離調節部材 3 3 0 を備えるアイロン部材実装手段 3 0 0 と、

前記アイロン部材実装手段 3 0 0 の一側から外部へ延長される取っ手 4 0 0 と、

水を格納するウォータータンク 6 0 0 と、

電源コンセントに挿入されるソケット 5 1 0 及び前記ソケット 5 1 0 と電氣的に連結される給電線 5 2 0 を備え、前記ソケット 5 1 0 を通じて印加される電源を前記給電線 5 2 0 を通じて前記ウォータータンク 6 0 0 に提供する電源連結部 5 0 0 と、を備え、

前記第 1 アイロン部材 1 0 0 は一側に前記第 1 支持台 3 1 0 に締結するための第 1 回転軸 1 3 0 をさらに備え、前記第 1 回転軸 1 3 0 と前記第 1 支持台 3 1 0 が締結されることにより、前記給電線 5 2 0 を通じた電源が前記第 1 加熱面 1 1 0 に印加され、前記第 1 回転軸 1 3 0 は前記第 1 アイロン部材 1 0 0 の長さ方向と平行し、前記第 1 アイロン部材 1 0 0 は前記第 1 回転軸 1 3 0 を中心に回転可能であり、前記第 2 アイロン部材 2 0 0 は一側に前記第 2 支持台 3 2 0 に締結するための第 2 回転軸 2 3 0 をさらに備え、前記第 2 回転軸 2 3 0 と前記第 2 支持台 3 2 0 が締結されることにより、前記給電線 5 2 0 を通じた電源が前記第 2 加熱面 2 1 0 に印加され、前記第 2 回転軸 2 3 0 は前記第 2 アイロン部材 2 0 0 の長さ方向と平行し、前記第 2 アイロン部材 2 0 0 は前記第 2 回転軸 2 3 0 を中心に回転可能であり、前記ウォータータンク 6 0 0 は前記給電線 5 2 0 と連結され、電源を供給され加熱することにより前記ウォータータンクに格納された水からスチームを生成するスチーム生成手段 6 1 0 及び前記生成されたスチームを前記第 1 アイロン部材 1 0 0 または第 2 アイロン部材 2 0 0 に伝送するスチーム供給ライン 6 2 0 を備え、前記スチーム供給ライン 6 2 0 は前記第 1 スチーム排出口 1 1 1 及び前記第 2 スチーム排出口 2 1 1 に連結されることを特徴とする、

折り畳み式アイロン。

## 【発明の詳細な説明】

## 【技術分野】

## 【0001】

本発明は、衣類のしわを伸ばすことに使われる家庭用または産業用アイロンに関するものである。

## 【背景技術】

## 【0002】

衣類などの着用時に生じるしわをなくすために以前から電気アイロンが使われてきた。

## 【0003】

一般的な電気アイロンの使用方式を調べてみると、アイロン台の上にアイロンをかける

10

20

30

40

50

対象（衣類など）を置いて、しわを伸ばす部分を手で伸ばしながらその上に高温のアイロンで押すことが一般的である。

【0004】

このような伝統的な方式によると、しわを伸ばすことや、衣類の折り目をつけることなどのアイロンかけが十分にできるが、携帯性がよくなく、アイロンかけに多くの時間と努力が所要されるという短所がある。

【0005】

よって、服をハンガーにかけた状態で簡易にしわを伸ばすための、スチームアイロンのような改良された形態のアイロンが登場した。

【0006】

しかし、このような改良された形態のアイロンもひどいしわを容易に伸ばすことはできるが、衣類の折れ目をつけることや、両面を同時にアイロンかけすることはできないので、アイロンかけに所要される努力や時間を画期的に節減できないという限界点がある。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0007】

本発明は、このような従来技術の問題点を解決するために案出されたものであって、一對のアイロン部材を備えて各アイロン部材を互いに向かい合うように折り畳んで、その間に衣類を挿入してアイロンかけすることにより、容易に衣類の折り目をつけることができ、両面を同時にアイロンかけすることができる折り畳み式のアイロンの提供をその目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0008】

上記のような目的を達成するために、本発明の一実施例による折り畳み式アイロンは、一面に電源が供給されることにより加熱される第1加熱面110を備え、一側方向に所定の長さだけ延長される形状を有する第1アイロン部材100と、一面に電源が供給されることにより加熱される第2加熱面210と、を備え、一側方向に所定の長さだけ延長される形状を有する第2アイロン部材200と、第1支持台310及び前記第1支持台310と所定の距離だけ離隔され、かつ、平行に配列された第2支持台320、前記第1支持台310及び第2支持台320の間の離隔距離を調節するための距離調節部材330を備えるアイロン部材実装手段300と、前記アイロン部材実装手段300の一側から外部へ延長される取っ手400と、電源コンセントに挿入されるソケット510及び前記ソケット510と電氣的に連結される給電線520を備え、前記ソケット510を通じて印加される電源を前記給電線520を通じて前記第1アイロン部材100及び第2アイロン部材200に提供する電源連結部500と、を備え、前記第1アイロン部材100は、一側に前記第1支持台310に締結するための第1回転軸130をさらに備え、前記第1回転軸130と前記第1支持台310が締結されることにより、前記給電線520を通じた電源が前記第1加熱面110に印加され、前記第1回転軸130は、前記第1アイロン部材100の長さ方向と平行し、前記第1アイロン部材100は前記第1回転軸130を中心に回転可能であり、前記第2アイロン部材200は、一側に前記第2支持台320に締結するための第2回転軸230をさらに備え、前記第2回転軸230と前記第2支持台320が締結されることにより、前記給電線520を通じた電源が前記第2加熱面210に印加され、前記第2回転軸230は前記第2アイロン部材200の長さ方向と平行し、前記第2アイロン部材200は前記第2回転軸230を中心に回転可能であることを特徴とする。

【0009】

一方、上記のような目的を達成するために、本発明のこの実施例による折り畳み式アイロンは、一側に第1加熱面110を備え、前記第1加熱面110に開口された多数の第1スチーム排出口111をさらに備え、一側方向に所定の長さだけ延長される形状を有する第1アイロン部材100と、一側に第2加熱面210を備え、前記第2加熱面210に開口された多数の第2スチーム排出口211をさらに備え、一側方向に所定の長さだけ延長

10

20

30

40

50

される形状を有する第2アイロン部材200と、第1支持台310及び前記第1支持台310と所定距離だけ離隔され、かつ、平行に配列された第2支持台320、前記第1支持台310及び第2支持台320の間の離隔距離を調節するための距離調節部材330を備えるアイロン部材実装手段300と、前記アイロン部材実装手段300の一侧から外部へ延長される取っ手400と、水を格納するウォータータンク600と、及び、電源コンセントに挿入されるソケット510及び前記ソケット510と電氣的に連結される給電線520を備え、前記ソケット510を通じて印加される電源を前記給電線520を通じて前記ウォータータンク600に提供する電源連結部500と、を備え、前記第1アイロン部材100は、一侧に第1支持台310に締結するための第1回転軸130をさらに備え、前記第1回転軸130と前記第1支持台310が締結されることにより、前記給電線520を通じた電源が前記第1加熱面110に印加され、前記第1回転軸130は、前記第1アイロン部材100の長さ方向と平行し、前記第1アイロン部材100は前記第1回転軸130を中心に回転可能であり、前記第2アイロン部材200は、一侧に前記第2支持台320に締結するための第2回転軸230をさらに備え、前記第2回転軸230と前記第2支持台320が締結されることにより前記給電線520を通じた電源が前記第2加熱面210に印加され、前記第2回転軸230は前記第2アイロン部材200の長さ方向と平行し、前記第2アイロン部材200は、前記第2回転軸230を中心に回転可能であり、前記ウォータータンク600は、前記給電線520と連結され、電源を供給されて加熱することにより前記ウォータータンクに格納された水からスチームを生成するスチーム生成手段610及び前記生成されたスチームを前記第1アイロン部材100または第2アイロン部材200に伝送するスチーム供給ライン620を備え、前記スチーム供給ライン620は、前記第1スチーム排出口111及び前記第2スチーム排出口211に連結されることを特徴とする。

【発明の効果】

【0010】

本発明によると、一对のアイロン部材を互いに向かい合うように折り畳むことにより衣類の折り目に両面からアイロンをかけることが可能となり、よって、容易に衣類の折れ目をつけることができるという効果がある。

【0011】

さらに、アイロン部材の一侧が分離され、アイロンかけする衣類を中心に反対側の面に付着された状態でアイロンかけすることができ、よって、服をハンガーなどにかけた状態で広い面積に対して同時に両面をアイロンかけすることができるという効果がある。

【0012】

このように、一对のアイロン部材を互いに向かい合うように折り畳んで使用するが、または一侧を分離して反対側に付着してアイロンかけをする場合、一侧のアイロン部材がアイロン台の役割をするので、さらに容易にアイロンかけができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【0013】

【図1】本発明の一実施例による折り畳み式アイロンの外形を説明する図面である。

【図2】図1に示された折り畳み式アイロンのアイロン部材の角度を調節することを説明する図面である。

【図3】図2に示された折り畳み式アイロンの一对のアイロン部材を互いに向かい合うように回転させて両面を同時にアイロンかけすることを説明する図面である。

【図4】一对のアイロン部材のうちいずれか一つを分離して他のアイロン部材のアイロンかけ面に付着させることを説明する図面である。

【図5】本発明の実施例による折り畳み式アイロンの外形を説明する図面である。

【発明を実施するための形態】

【0014】

以下では、本発明の好ましい実施例及び添付する図面を参照して本発明を詳細に説明する。一方、本発明を明確にするために本発明の構成と関連のない内容は省略するが、図面

の同一の参照符号は同一の構成要素を示すことを前提として説明する。

【0015】

一方、発明の詳細な説明または特許請求の範囲において、いずれか一つの構成要素が他の構成要素を「含む」ということは、特に反対の記載がない限り、当該構成要素だけで成されることと限定されて解釈されてはならず、他の構成要素をさらに含むことができるということを意味する。

【0016】

また、発明の詳細な説明または特許請求の範囲において、「～手段」、「～部」、「～モジュール」、「ブロック」として命名された構成要素は、少なくとも一つ以上の機能や動作を処理する単位を意味する。

【0017】

図1は、本発明の一実施例による折り畳み式アイロンの外形を説明する図面であり、図2は、図1に示された折り畳み式のアイロンのアイロン部材の角度を調節することを説明する図面であり、図3は図2に示された折り畳み式アイロンの一对のアイロン部材を互いに向かい合うように回転させて両面を同時にアイロンかけすることを説明する図面である。

【0018】

一方、図4は、一对のアイロン部材のうちいずれか一つを分離して他のアイロン部材のアイロンかけ面に付着させることを説明する図面である。

【0019】

図1によると、本発明の一実施例による折り畳み式アイロンは、第1回転軸130を中心に回転する第1アイロン部材100、第2回転軸230を中心に回転する第2アイロン部材200、前記一对のアイロン部材100、200の各回転軸130、230が実装されるアイロン部材実装手段300、前記アイロン部材実装手段300に連結される取っ手400、外部から電源が印加される電源連結部500を備える。

【0020】

第1アイロン部材100は図1に示されたように、一側方向に所定の長さだけ延長される形状を有し、その一側面には外部から電源が供給されることにより加熱される平面である第1加熱面110が備えられる。前記第1加熱面110内部には熱線（未図示）が備えられ電気エネルギーを熱エネルギーに変換することにより加熱される。

【0021】

一方、前記第1アイロン部材100の第1加熱面110の反対側は、図1に示されたように丸いか、或いは角ばった形態で突出され、第1加熱面110の加熱時にもやけどせずに掴むことができるように第1取っ手120がさらに備えられる。

【0022】

一方、第2アイロン部材200もまた、一側方向に所定の長さだけ延長される形状を有し、その一側面には外部から電源が供給されることにより加熱される平面である第2加熱面210が備えられる。前記第2加熱面210内部にも熱線（未図示）が備えられ、電気エネルギーを熱エネルギーに変換することにより加熱される。

【0023】

一方、前記第2アイロン部材200の第2加熱面210の背面もまた図1に示されたように第1アイロン部材200と同一の形状であり得るし、第2加熱面210の加熱時にもやけどせずに掴むことができるように第2取っ手220がさらに備えられる。

【0024】

この場合、好ましくは、前記第1加熱面110と第2加熱面210は長方形の形状を有し、互いに同じ大きさを有することができる。

【0025】

アイロン部材実装手段300は、第1支持台310と第2支持台320を備え、前記第1支持台310と前記第2支持台320は、好ましくは一側方向に所定長さだけ延長される棒状を有し、かつ、相互間に一定距離だけ離隔されて平行を成す。

10

20

30

40

50

## 【0026】

一方、アイロン部材実装手段300は、図1に示されたように前記第1支持台310と第2支持台320の離隔距離を調節するための距離調節部材330を備える。この場合、距離調節部材330は図1に示されたように、いくつかの歯車の組み合わせにより成り立っており、そのうちいずれか一つの歯車を使用者が回すことにより前記第1支持台310と第2支持台320の離隔距離が調節できる。

## 【0027】

図1の例において、第1支持台310は距離調節部材300と一体に成形され固定され、かつ、第2支持台320は距離調節部材300に形成されたレール(未図示)に挟まれた状態で歯車の回転時にレールに沿って移動することになる。

10

## 【0028】

取っ手400は、前記アイロン部材実装手段300の一侧から外部へ延長され、使用者が片手で容易に掴める形状を有する。この場合、好ましくは、手から滑らないようにゴムなどの材質で覆われることができる。

## 【0029】

一方、電源連結部500は、電源コンセントに挿入されるソケット510及び前記ソケット510と電氣的に連結される給電線520を備える。給電線520は、図1に示されたように取っ手400の一侧面に挿入され、前記アイロン部材実装手段300内部へ延長された後、それぞれ前記第1アイロン部材100及び第2アイロン部材200に連結される。

20

## 【0030】

これにより、電源コンセントにソケット510挿入時に外部から印加される電源が前記第1アイロン部材100及び第2アイロン部材200の各加熱面110、210内部の熱線に印加され、これにより各加熱面110、210が加熱される。

## 【0031】

一方、一对のアイロン部材100、200と、前記アイロン部材実装手段300の結合関係を調べてみると、まず、第1アイロン部材100は一侧に前記第1支持台310に締結するための第1回転軸130をさらに備える。

## 【0032】

この場合、第1回転軸130は、好ましくは、図4の(a)に示されたように前記第1加熱面110の一侧面から前記第1アイロン部材100の長さ方向と平行に所定の長さだけ延長される棒状を有する。

30

## 【0033】

一方、前記第1支持台310は、図4の(a)に示されたように前記第1回転軸130が挿入できるように一侧末端に開口が形成された棒状をする。この場合、その断面積は前記第1回転軸130の断面より広い。

## 【0034】

第1回転軸130は、このように前記第1支持台310に挿入されたまま回転可能である。すなわち、使用者は図2に示されたように第1取っ手120を掴んで前記第1アイロン部材100を回転軸を中心に回すことができ、その角度を調節することができる。

40

## 【0035】

一方、前記第1支持台310には前記第1回転軸130が挿入され締結されることにより、前記第1回転軸130と前記第1支持台310の締結角度を調節する第1角度調節部材311がさらに備えられる。

## 【0036】

このような第1角度調節部材311は、前記第1回転軸130が一定の角度で回転した状態で、これ以上その角度がずれないように固定する。固定は例えばねじを締めるなどの方法で行われることができる。

## 【0037】

第2アイロン部材200もまた前記で説明した第1アイロン部材100と同様に、前記

50

第2支持台320に締結するための第2回転軸230をさらに備え、

前記第2支持台320もまた前記第2回転軸230が締結されることにより、その角度を調節し、これ以上その角度がずれないように固定する第2角度調節部材321を備える。

【0038】

これにより使用者は図2に示されたように、第1取っ手120または第2取っ手220を掴んで第1アイロン部材100と第2アイロン部材200の角度を調節することができ、距離調節部材330を用いて前記第1アイロン部材100と第2アイロン部材200の距離を調節できるようになる。

【0039】

換言すると、第1アイロン部材100と第2アイロン部材200の第1加熱面110と第2加熱面210は、図2に示されたように平行を維持したままで、所定距離だけ離隔されるように互いに向かい合うこともでき、図1に示されたように互いに同一平面に位置するように角度が調節されることもできる。

【0040】

図1に示されたように、一对のアイロン部材100、200の加熱面110、210が同一平面に位置する場合、使用者は取っ手400を掴んで衣類の表面に前記加熱面110、210を置いたまま軽く押すことにより公知のアイロンと同様にアイロンかけをすることができる。

【0041】

一方、図2に示されたように、一对のアイロン部材100、200の加熱面110、210が互いに向かい合うように角度を調節した後、距離調節部材330を用いて前記第1アイロン部材100と第2アイロン部材200の距離を、アイロンかけする衣類の厚さだけ減らした後、図3に示されたように前記加熱面110、210の間にアイロンかけする衣類を挟んで一側に押すことにより衣類の両面を同時にアイロンかけすることもできる。

【0042】

これは、ズボンやシャツなどに折れ目をつけるための用途で使用できる。

【0043】

従来技術によると、ズボンの場合、ズボンの折れ目を伸ばしてアイロン台の上に置いてからアイロンをかけなければならなかったが、本発明によると、ズボンをハンガーにかけたままで、折り目をそと取って前記加熱面110、210の間に挟んだまま一側に押すことにより簡単にアイロンかけができる。

【0044】

一方、前記一对のアイロン部材100、200のうち少なくともいずれか一つは前記支持台310、320から分離可能である。図4の(a)によると、前記第2アイロン部材200は前記第2支持台320から分離可能であることが分かる。

【0045】

すなわち、図4の(a)によると、使用者は第2角度調節部材321をはずして前記第2アイロン部材200を前記第2支持台320から分離することができる。

【0046】

この場合、前記一对のアイロン部材100、200の加熱面110、210のうち少なくとも一つには、前記第1加熱面110及び前記第2加熱面210が所定の距離だけ離隔された状態でも誘引力を通じて前記第1加熱面110と前記第2加熱面210が互いに向かい合ったまま固定されるようにする離隔固定手段(未図示)がさらに備えられる。

【0047】

この場合、前記離隔固定手段は磁石であり、前記加熱面110、120は磁力により誘引される鉄金属の材質であってもよい。

【0048】

これによって使用者は、前記分離した第2アイロン部材200の加熱面210を図4の(b)のように前記第1加熱面110に付着させることができる。

10

20

30

40

50



## 【0049】

すなわち、アイロンかけする衣類をハンガーなどにかけて状態で、前記第1加熱面110と第2加熱面210との間に前記衣類を挿入したままでアイロンかけをすることができる。

## 【0050】

このように一つ以上のアイロン部材100、200を支持台310、320から分離するために電氣的な連結に関する考慮が必要である。

## 【0051】

すなわち、給電線520は、取っ手400を通じて前記第1支持台310及び前記第2支持台320まで連結され、回転軸130、230が図4の(a)に示されたように、支持台310、320内部へ挿入されることにより、前記回転軸130、230の接点に前記支持台310、320内部の接点、接線が接触されることにより前記アイロン部材100、200に電源が印加されるようにする。

10

## 【0052】

よって、図4の(b)に示されたように、第2アイロン部材200を分離すると、前記第2アイロン部材200はこれ以上電源が供給されず、前記第1加熱面110と第2加熱面210の間にアイロンかけしようとする衣類を挿入した状態でアイロンかけをする場合、前記第2加熱面210はアイロン台の役割をする。

## 【0053】

図3によると、加熱面110、210の面積より狭い幅の衣類などをアイロンかけすることができるだけであるが、このようにいずれか一つのアイロン部材100、200を分離することにより幅に制限をおかずにアイロンかけをすることができる。

20

## 【0054】

以下では、図5を参照して本発明のこの実施例による折り畳み式のアイロンについて詳細に調べてみる。

## 【0055】

図5は本発明のこの実施例による折り畳み式アイロンの外形を説明する図面である。

## 【0056】

図5に示された本発明のこの実施例による折り畳み式のアイロンは、前記一実施例とは違って、加熱面110、210が熱線などにより直接加熱されず、代わりに前記加熱面110、210にそれぞれ備えられたスチーム排出口111、211を通じてスチームが排出される形態のアイロンである。

30

## 【0057】

図5によると、水を格納するウォータータンク600がさらに備えられ、電源連結部500の給電線520はソケット510を通じて印加される電源を前記ウォータータンク600に提供する。

## 【0058】

一方、ウォータータンク600は、前記給電線520と連結され、電源を供給されて加熱することにより、前記ウォータータンク600に格納された水からスチームを生成するスチーム生成手段610と前記生成されたスチームを前記第1アイロン部材100または第2アイロン部材200に伝送するスチーム供給ライン620を備える。

40

## 【0059】

一方、前記スチーム供給ライン620は、前記第1スチーム排出口111及び前記第2スチーム排出口211に連結されて外部へ排出される。

## 【0060】

使用者は、アイロンかけしようとする衣類をハンガーにかけて状態で高温のスチームを用いてしわなどを伸ばすことができる。

## 【0061】

この場合、図3に示されたように、第1アイロン部材100と第2アイロン部材200を互いに向かい合うようにして両面から同時にスチームを放出してアイロンかけをするこ

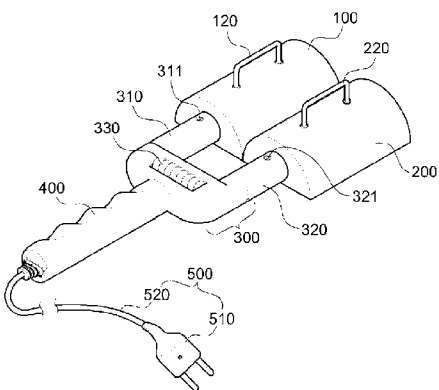
50

ともできる。

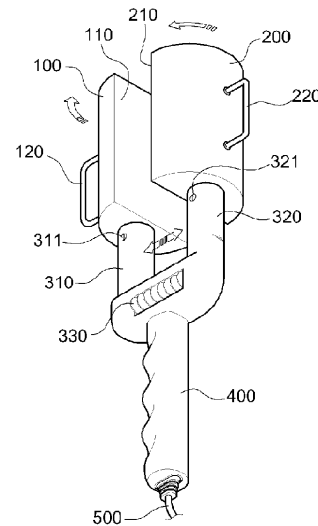
【0062】

本発明は、添付図面及び前記のような実施例を参照して説明したが、これは例示的なものに過ぎず、本技術分野における通常の知識を有する者であれば、これにより多様な変形及び均等な他の実施例が可能である点が理解できるはずである。よって、本発明の権利範囲は添付の特許請求の範囲の技術的思想により定められるべきであり、上記のような実施例に限らない。

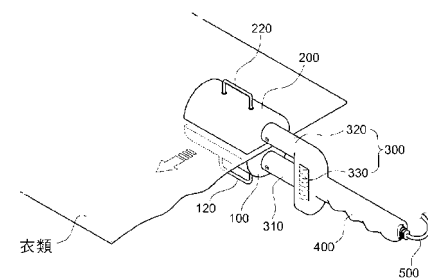
【図1】



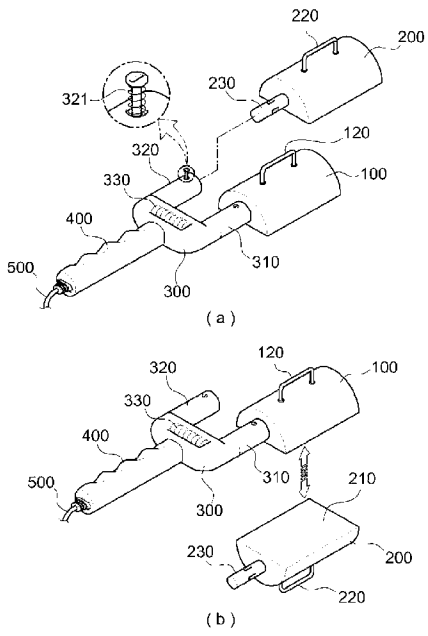
【図2】



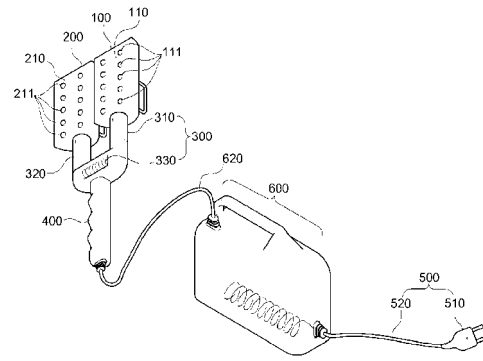
【図3】



【 図 4 】



【 図 5 】




## 【 国際調査報告 】

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

**PCT/KR2012/009797**

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER <b>D06F 75/30(2006.01)i, D06F 75/08(2006.01)i, D06F 75/00(2006.01)i</b> According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) D06F 75/30; D06F 75/10; D06F 75/38; D06F 75/14; A45D 1/00; D06F 75/12  Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Korean Utility models and applications for Utility models: IPC as above Japanese Utility models and applications for Utility models: IPC as above  Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) eKOMPASS (KIPO internal) & Keywords: iron, foldable, support, distance control, grip, socket, feeder, rotating shaft, steam, water tank		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	KR 10-0728689 B1 (KIM, DONG MUK) 19 June 2007 See abstract, the claims, the drawings	1-7
A	KR 10-0385629 B1 (POSTECH FOUNDATION) 27 May 2003 See abstract, the claims, the drawings	1-7
A	KR 10-2006-0114224 A (LEE, HA CHUL et al.) 06 November 2006 See abstract, the claims, the drawings	1-7
A	JP 2003-339422 A (HATTORI HEATING KOGYO KK) 02 December 2003 See abstract, the claims, the drawings	1-7
<input type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input checked="" type="checkbox"/> See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search <b>27 FEBRUARY 2013 (27.02.2013)</b>		Date of mailing of the international search report <b>28 FEBRUARY 2013 (28.02.2013)</b>
Name and mailing address of the ISA/KR  Korean Intellectual Property Office Government Complex-Daejeon, 189 Seonsa-ro, Daejeon 302-701, Republic of Korea Facsimile No. 82-42-472-7140		Authorized officer  Telephone No.

**INTERNATIONAL SEARCH REPORT**  
Information on patent family members


International application No.

**PCT/KR2012/009797**

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member	Publication date
KR 10-0728689 B1	19.06.2007	NONE	
KR 10-0385629 B1	27.05.2003	NONE	
KR 10-2006-0114224 A	06.11.2006	NONE	
JP 2003-339422 A	02.12.2003	JP 3609064 B2	12.01.2005

국제조사보고서

국제출원번호  
**PCT/KR2012/009797**

<p><b>A. 발명이 속하는 기술분류(국제특허분류(IPC))</b></p> <p><b>D06F 75/30(2006.01); D06F 75/08(2006.01); D06F 75/00(2006.01)</b></p>																
<p><b>B. 조사된 분야</b></p> <p>조사된 최소문헌(국제특허분류를 기재) D06F 75/30; D06F 75/10; D06F 75/38; D06F 75/14; A45D 1/00; D06F 75/12</p> <p>조사된 기술분야에 속하는 최소문헌 이외의 문헌 한국등록실용신안공보 및 한국공개실용신안공보: 조사된 최소문헌란에 기재된 IPC 일본등록실용신안공보 및 일본공개실용신안공보: 조사된 최소문헌란에 기재된 IPC</p> <p>국제조사에 이용된 전산 데이터베이스(데이터베이스의 명칭 및 검색어(해당하는 경우)) eKOMPASS(특허청 내부 검색시스템) &amp; 키워드: 다리미, 접이식, 지지대, 거리조절, 손잡이, 소켓, 급전선, 회전축, 스펀, 워터탱크</p>																
<p><b>C. 관련 문헌</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>카테고리*</th> <th>인용문헌명 및 관련 구절(해당하는 경우)의 기재</th> <th>관련 청구항</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>KR 10-0728689 B1 (김동욱) 2007.06.19 요약, 청구항, 도면 참조</td> <td>1-7</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>KR 10-0385629 B1 (학교법인 포항공과대학교) 2003.05.27 요약, 청구항, 도면 참조</td> <td>1-7</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>KR 10-2006-0114224 A (이하철 외 1명) 2006.11.06 요약, 청구항, 도면 참조</td> <td>1-7</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>JP 2003-339422 A (HATTORI HEATING KOGYO KK) 2003.12.02 요약, 청구항, 도면 참조</td> <td>1-7</td> </tr> </tbody> </table>		카테고리*	인용문헌명 및 관련 구절(해당하는 경우)의 기재	관련 청구항	A	KR 10-0728689 B1 (김동욱) 2007.06.19 요약, 청구항, 도면 참조	1-7	A	KR 10-0385629 B1 (학교법인 포항공과대학교) 2003.05.27 요약, 청구항, 도면 참조	1-7	A	KR 10-2006-0114224 A (이하철 외 1명) 2006.11.06 요약, 청구항, 도면 참조	1-7	A	JP 2003-339422 A (HATTORI HEATING KOGYO KK) 2003.12.02 요약, 청구항, 도면 참조	1-7
카테고리*	인용문헌명 및 관련 구절(해당하는 경우)의 기재	관련 청구항														
A	KR 10-0728689 B1 (김동욱) 2007.06.19 요약, 청구항, 도면 참조	1-7														
A	KR 10-0385629 B1 (학교법인 포항공과대학교) 2003.05.27 요약, 청구항, 도면 참조	1-7														
A	KR 10-2006-0114224 A (이하철 외 1명) 2006.11.06 요약, 청구항, 도면 참조	1-7														
A	JP 2003-339422 A (HATTORI HEATING KOGYO KK) 2003.12.02 요약, 청구항, 도면 참조	1-7														
<p><input type="checkbox"/> 추가 문헌이 C(계속)에 기재되어 있습니다.      <input checked="" type="checkbox"/> 대응특허에 관한 별지를 참조하십시오.</p>																
<p>* 인용된 문헌의 특별 카테고리:</p> <p>“A” 특별히 관련이 없는 것으로 보이는 일반적인 기술수준을 정의한 문헌      “T” 국제출원일 또는 우선일 후에 공개된 문헌으로, 출원과 상충하지 않으며 발명의 기초가 되는 원리나 이론을 이해하기 위해 인용된 문헌</p> <p>“E” 국제출원일보다 빠른 출원일 또는 우선일을 가지나 국제출원일 이후에 공개된 선출원 또는 특허 문헌      “X” 특별한 관련이 있는 문헌. 해당 문헌 하나만으로 청구된 발명의 신규성 또는 진보성이 없는 것으로 본다.</p> <p>“L” 우선권 주장에 의문을 제기하는 문헌 또는 다른 인용문헌의 공개일 또는 다른 특별한 이유(이유를 명시)를 밝히기 위하여 인용된 문헌      “Y” 특별한 관련이 있는 문헌. 해당 문헌이 하나 이상의 다른 문헌과 조합하는 경우로 그 조합이 당업자에게 자명한 경우 청구된 발명은 진보성이 없는 것으로 본다.</p> <p>“O” 구두 개시, 사용, 전시 또는 기타 수단을 언급하고 있는 문헌      “&amp;” 동일한 대응특허문헌에 속하는 문헌</p> <p>“P” 우선일 이후에 공개되었으나 국제출원일 이전에 공개된 문헌</p>																
<p>국제조사의 실제 완료일 2013년 02월 27일 (27.02.2013)</p>	<p>국제조사보고서 발송일 <b>2013년 02월 28일 (28.02.2013)</b></p>															
<p>ISA/KR의 명칭 및 우편주소 대한민국 특허청 (302-701) 대전광역시 서구 청사로 189, 4동 (문산동, 정부대전청사) 팩스 번호 82-42-472-7140</p>	<p>심사관 조호정 전화번호 82-42-481-5587</p> 															

국제조사보고서  
대응특허에 관한 정보

국제출원번호  
**PCT/KR2012/009797**

국제조사보고서에서 인용된 특허문헌	공개일	대응특허문헌	공개일
KR 10-0728689 B1	2007.06.19	없음	
KR 10-0385629 B1	2003.05.27	없음	
KR 10-2006-0114224 A	2006.11.06	없음	
JP 2003-339422 A	2003.12.02	JP 3609064 B2	2005.01.12

## フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN

## 【要約の続き】

1支持台310に締結するための第1回転軸130をさらに備え、前記第1回転軸130と前記第1支持台310が締結されることにより、前記給電線520を通じた電源が前記第1加熱面110に印加され、前記第1回転軸130は、前記第1アイロン部材100の長さ方向と平行し、前記第1アイロン部材100は前記第1回転軸130を中心に回転可能であり、前記第2アイロン部材200は、一側に前記第2支持台320に締結するための第2回転軸230をさらに備え、前記第2回転軸230と前記第2支持台320が締結されることにより、前記給電線520を通じた電源が前記第2加熱面210に印加され、前記第2回転軸230は前記第2アイロン部材200の長さ方向と平行し、前記第2アイロン部材200は前記第2回転軸230を中心に回転可能であることを特徴とする。

## 【選択図】図1